

# 今年度活動計画(案)のポイント

## —陽田委員長に聞く—

# 全国協議会 ニュース

発行所  
全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
〒160 東京都新宿区  
愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL.(03)3356-8217  
FAX.(03)3356-8637  
発行責任者  
渡辺 孝一  
http://www.marrow.or.jp/  
E-mail:info@marrow.or.jp

郵便振替口座  
00150-4-15754  
銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655

「97年全国骨髄バンクボランティアの集いin新潟」の2日目は、全国協議会の第8回通常総会です。総会に提案される今年度活動計画案のポイントについて、陽田運営委員長に聞きました。



Q 活動計画の基本にあるものは?

日本骨髄バンクは満5年を経過し、6年目に入りました。5年は大きな節目です。この5年間の成果や問題点をしっかり総括し、その上立って今後の目標や戦略を立てていく、そうした年にしたいと思っています。

具体的には、骨髄バンク関係者に幅広く呼びかけ、2日間ほどみっちり意見交換できるシンポジウムを計画したいと思っています。

Q 国際交流の分野では?

昨年度は関係者の努力もあって、大きな前進がありました。全国協議会としては諸外国の骨髄バンクとの交流を活発にして、良い面をもっと学び、日本の骨髄バンクに反映していくための企画を充実したいと思っています。

Q 普及啓発面では?

全国一斉の統一事業、学生向

「啓発活動の企画やボランティアフリーダイヤル、ホームページの充実などに努めたいと思っています。」

Q 患者支援事業も充実させていますか?

佐藤さち子患者支援基金や白血病フリーダイヤルを一層充実させるとともに、患者家族向けの情報冊子やシンポジウムの開催を計画したいと思っています。

Q 組織運営面では?

情報提供体制を充実させ、各地団体との意志疎通を一層密にしたいと思っています。また、代表者会議の位置づけを規約上明確にするために、規約の一部改正を提案します。

Q 最後に一言を

本年度の運動スローガンとして「今、共生のとき、育もう。地球のネットワーク、創ろう。愛ある骨髄バンク」を掲げました。積極的かつ建設的な論議で、実りある総会にしてくださいと思います。

## 「白血病フリーダイヤル」 受付担当者研修会を開催



「白血病フリーダイヤル」では、自分たちの電話による相談受付の能力を向上させたいとの強いご希望を受けて、医療知識やコミュニケーションカンパニリングをテーマとする研修会の開催を計画していましたが、その第一回研修会を次のとおり開催しました。

1. 開催日時 平成9年4月6日(日) 午後2時～5時
2. 場所 渋谷区立労働福祉会館
3. 課題「患者カウンセリングの基本と留意点」
4. 講師 大木桃代先生
5. 参加対象者「白血病フリーダイヤル」受付担当者その他希望者 計16名

講師の大木桃代先生は早稲田大学の臨床心理学専攻で、東大医学部研究所付属病院で実際に患者や患者の家族へのカウンセリングを担当しておられます。研修は先ず「交流分析」という人間の行動パターンに関する理論をほんの少々学び、これに基づき分析票(東大式エゴグラム)により、受講者が自分が他人と交流する際の行動の型の分析を演習しました。

最後に、実際にBMTの施術を受けられた患者さんのカウンセリングの事例研究が紹介され、患者さんの入院時、告知前後、BMT施術前後の心の動きや問題点の事例に触れる事ができました。

研修会全般を通じて、受講者一同大きな感銘と有益なサジェスチョンを受け、今後の「白血病フリーダイヤル」相談受付のなかに、少しでも活かしていこうと、心を新たに第2次第です。

全国協議会では、5月より2つのフリーダイヤルが稼働し、市民からの問い合わせに応じます。

ボランティアダイヤル  
バンクに とうろく  
0120-892-106  
白血病フリーダイヤル  
やまい こく ふう  
0120-81-5929

### 情報誌 「骨髄バンク」 第3号発行

予定より発行が大幅に遅れていた情報誌「骨髄バンク」第3号が、5月10日に発行となります。第3号はこれまでの創刊号・第2号よりもページ数は増え、より充実した内容になっています。

「骨髄バンクの国際協力」や「患者家族宿泊支援施設」の特集が組まれているほか、映画「金色のクジラ」の制作余話など、読み応えのある記事が満載されています。

定価は500円、各地の加盟団体にお申し込みください。

「骨髄バンク」第3号  
目次より

- ・日本骨髄バンク5年目の総括
- ・「骨髄バンク」の国際協力
- ・患者家族宿泊支援施設
- ・私と骨髄バンク運動
- ・秋田・神奈川・奈良・沖縄 千例記念キャンペーンの反省
- ・映画「金色のクジラ」制作余話
- ・白血病フリーダイヤル中間報告
- ・ホームページ開設奮闘記
- ・骨髄バンク
- ・花の高一トリオ

「DNAクラスI適合の重要性」  
「骨髄移植の麻酔の安全性」  
「私と骨髄バンク運動」  
秋田・神奈川・奈良・沖縄  
千例記念キャンペーンの反省

・特集「国際協力」  
台湾・韓国・アメリカ  
・患者家族宿泊支援施設  
名古屋・神奈川・福岡・福島・アメリカ  
・最新医療情報  
「DNAクラスI適合の重要性」

### 骨髄バンクNOW

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●全米骨髄バンク(NMDP)との業務提携、国際協力事業開始  
日米骨髄バンクは、相互提携による業務開始を、去る4月8日発表。業務開始に先立ち、財団では移植医への説明会を開催し、日本骨髄バンクでドナー候補者の見つからない約650名の登録患者の主治医宛にNMDPへの検索依頼方法などについて説明書を出し、受付を開始しています。台湾骨髄バンクとの業務提携については、両骨髄バンクで将来業務提携することが基本的に合意されましたので、4月から試験的に相互検索を開始する事を患者主治医宛に通知しました。

●パンフレット「チャンス」改訂版を発行  
HLA検査の1次・2次検査の同時実施と国際協力事業の開始などに伴い、パンフレット「チャンス」の内容が一部改定されました。関係先には改訂版を順次発送いたしますが急ぎ必要とされる場合財団事務局までお知らせください。お手元にある在庫は変更事項をお知らせするチラシ(ピンク色のもの)を差し込んでご利用願います。

●骨髄移植推進財団の平成9年度新規事業計画の概要

- ①ドナー登録問い合わせ時間外電話受付業務を4月より開始します
- ②ホセ・カレーラスチャリティーコンサートを開催します
- ③インターネットの急速な発展に対応し、日本骨髄バンクホームページを開設します
- ④地区事務局体制の整備を図るため、職員の見直し・増員、コンピューターシステム化を推進します
- ⑤NMDPとの業務提携の着実な推進を図るとともに、アジア諸国との提携業務に向けて必要な調査協議を行います。財団主催の国際フォーラムを開催します

【3月末現在検査済みドナー登録者】	81,919人
【3月末現在患者登録者】	5,023人
【3月末現在移植件数】	1,075例

★骨髄バンクボランティアダイヤル★  
フリーダイヤル0120-892-106

